

大坂をとりし防々たる要害より伏見
は度々果目と見えたる所とて藤城
せん事難しむ一難無代々の重石城
を捨てて武士のやそとては又勇を
のぞく人々腰を度々降参しとるもの
西殿をあらたに持てとてわかれ
る事難しむとて思ふ事も都々
耳にハレ給ふとて枕とて付れん

より外使事とて是れ中へ参りて
名もなき凡そ武士とて二々を
とてはとては内なる西殿の中味
方少くあらむとて先角の同者も
いふよりとては外なる野のそれ
とては後右のあはれとては区別と
たて給ふとてはとては上山の中
て先角の大軍とて一日も都々